

環境ニュース

🌐 エネルギーミックス

●CO2排出量の削減目標

2015年11月にフランスのパリで第21回国連気候変動枠組み条約締約国会議（COP21）が開催予定です。参加国が、2020年以降の地球温暖化対策の新たな枠組みで合意することを目指すはずで。

欧州連合（EU）は、2030年までに1990年比40%の削減目標を、2014年10月に公表しています。

これまで消極的だったアメリカと中国も動き出し、アメリカは2025年までに2005年比26～28%の削減、中国は2030年頃をピークに削減、する目標を公表しています。

日本は2015年1月からエネルギーのベストミックスの議論を始め、6月頃までに最終的な案をまとめる予定とのことです。

●エネルギーミックス

東日本大震災前の2010年度時点での日本の電力は、火力が62%、原発が28%、水力を含む再生エネルギーが10%、を賄っていました。しかし震災後原発が止まり、2013年度時点では、火力が88%まで増えているそうです。化石燃料の輸入増加による貿易赤字の膨張、温暖化ガスの排出量の増加、エネルギー安全保障の政治リスク、など様々な観点からエネルギー供給の在り方を見直す必要があると思います。

具体的なエネルギーミックスの目標を立てる上で、大きくは以下の2点の議題があるとされています。

①再生エネルギーの導入目標。

2012年に電力会社による買い取り制度が始まりました。

制度面で課題を残しつつも、導入は拡大しています。

しかし、企業や家庭の負担も増えています。

制度を見直すことで、国民の負担を減らし、持続性のある目標の策定が期待されます。

②原子力発電をどうするのか。

安全運転の確認や地元の同意、使用済み核燃料の処理、老朽原発の運転延長や建て替え、など課題は山積みです。

原子力規制委員会の独立性と中立性を持った判断が

期待されます。

以上

常に物事の本質を見失わず
ほんものを追求する会社でいたい

